

市政を問う

一般質問

本定例会において、一般質問が市長の所信表明を受け、3月16日から18日までの3日間にわたり行なわれた。

41名の議員が災害復旧、復興対応を中心に、小出病院問題、財政健全化問題、子育て支援への取り組み等についての考えをたじた。



答弁する星野市長

災害に強い市政運営および市民憲章等制定は

避難所となりうる施設の整備および憲章は必要



星 謙一 議員

問 公共施設等の耐震強化復興住宅の建設、災害時職員のボランティア活動についての考えは。

答 耐震強化は必要、住宅建設は被災者の意見を調査し対応する。ボランティア活動は推奨したい。

問 市民憲章、花、木、鳥等制定と広告塔建設は。

答 必要性を認識しており国県へ早期整備、完工を強く要望していく。

問 地域審議会の構成と運用についての考えを。

答 関係者の意志を確認の上で作業を進めたいと考える。

問 国道352号線湯之谷芋川マギ地域の安全安心確保について、迂回路建設、災害防止施設の整備が急務と考えるが。

答 国道352号線湯之谷芋川マギ地域の安全安心確保について、迂回路建設、災害防止施設の整備が急務と考えるが。

問 町名等の住居表示変更について、旧湯之谷上ノ原、奥只見、銀山平温泉各地区から要望があるが。

答 町名等の住居表示変更について、旧湯之谷上ノ原、奥只見、銀山平温泉各地区から要望があるが。



国道352号線湯之谷芋川のマギ地域

リコール運動をどのように受けとめているか

在任特例の期間は法に準拠しているか



神保 隆 議員

想いは、小出病院の充実である。市長として県の意向、方針待ちでよいのか。基幹病院構想は県立病院の再編統合、移譲委託、法人化などにつながるのではないか。高規格救急車の増車、救急救命士の増員計画を中長期的に医療ニーズを県にあげるべきか。配備構想を広域行政で考えてゆくべきと思うがどうか。

問 成立が確実な署名数の住民直接請求。この現実を市長としてどのように受け止めているか。住民、議会に対し何か出来る事はないか。どうしたら両者の信頼関係が築かれ保たれるか。考え方を述べているか。

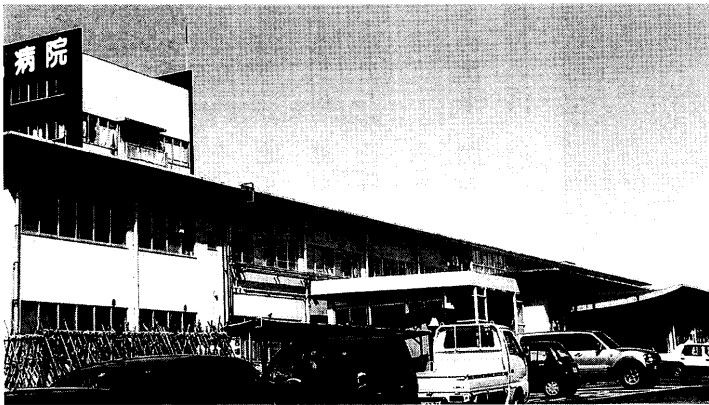
高規格救急車の増車、救急救命士の増員計画を中長期的に医療ニーズを県にあげるべきか。配備構想を広域行政で考えてゆくべきと思うがどうか。

問 6カ町村の合併を進める中で、住民に不安を与えないようにという委員の配慮があつて決定したものと認識している。

答 基幹病院構想を推進して行きたい。その中で医療ネットワークのあり方について検討したい。

問 小出病院問題について住民の医療への

問 休日夜間救急センターの設置
ドクターヘリ



連日診療者で混雑する小出病院

虫野下口交差点の早期改良を

国土交通省で十七年度中に施工予定



桑原 清 議員

問 虫野下口交差点の改良について、右折自動車的安全地帯と歩道の整備を。安委員会に要望し、十七年度予算においてバス停待合所設置事業補助金を計上し、地元からの要望には対応したいと考えている。

問 市内各地域から提出される陳情書はどのようになっているか。又陳情者にはいつ報告されるのか。

答 右折車線がなく危険を伴っていることから、

答 現地調査については必要に応じて調査をし、担当課に於て検討した上でできるだけ早く陳情者に報告するようにつとめる。

問 ほんだ 病院等福祉施設の多い場所であり、おもに老人の利用が多い所である。早急な改善を求め

答 ご要望の地点は国道十七号線でもあり県公



虫野下口交差点での改良場所

一般質問

中越震災の復興公営住宅の建設整備を! 意識調査をふまえ、既存の施設利用を含め検討



五十嵐 昭夫 議員

問 大規模半全壊、壊の被災者で老人住宅等、住宅再建の見通しが立たない人達の為にきめ細かいケアをして、集合住宅の整備を図るべきである。

答 アンケートの結果をみて既存施設の活用と合わせて新たな住宅の建設が必要か検討する。

国は生活再建には支援するが、住宅再建には「個人の財産形成に」と応援はほぼ旧町村単位で執行しているが今後

問 公共工事の入札に併せて、併メリットを問う。

合併後、4ヶ月経過して、入札状況はほぼ旧町村単位で執行しているが今後

則ではあるが、これに従ってばかりでは地域を守れない。住宅再建可能な方がこの土地を離れないためにも年金で払える除雪の心配不要の住宅と既存施設の有効活用を考えは。

答 中越震災復旧工事が区切りとなる時期を見据えて、早い機会に地元企業の受注機会に配慮しつつ、旧町村の垣根を越え、条件は一般競争入札の対象範囲の拡大を図るべく、準備を進めていきたい。



茂沢の応急仮設住宅(旧広神村)



星 武利 議員

問 災害復旧を優先するのことは当然のことであるが、国・地方の財政事情は合併前から分かっていて、このことで復旧の対応に不公平が生じてはならない。雪によるのか地震によるのか道路での事故が数件あった。雪崩防護柵でなく落石防止スノーシールドがよいと思う。葎沢ダム左マギの山は危険地帯である。他にも数件の事故が起きている。対策はどうなっているか。

答 本庁舎の建設に関して、分庁舎では不都合だとの市民多数の声を聞く。2、3年のうちに委員会を設置するといふようなのんびりした対応では遅すぎる。本庁舎ができれば職員の数も削減できることを市民は充分理解している。又それを望んでいる。

災害復旧と本庁舎建設について 雪消えを待つて状況を確認し 県と協議する

答 合併協議会できめたように5年以内で検討し、10年以内に建設する。

答 提言を参考にして、雪消えを待つて状況



マギの山

中山間地直接支払は 集落の将来を計画する



高橋 金一 議員

市政の発展に努めよ。

答 審議会の地域の声 選にこだわりはなく、協力をお願い、公共施設 力をいただきたい。

設の設置、福祉、消防、文化行政振興の参考にする。

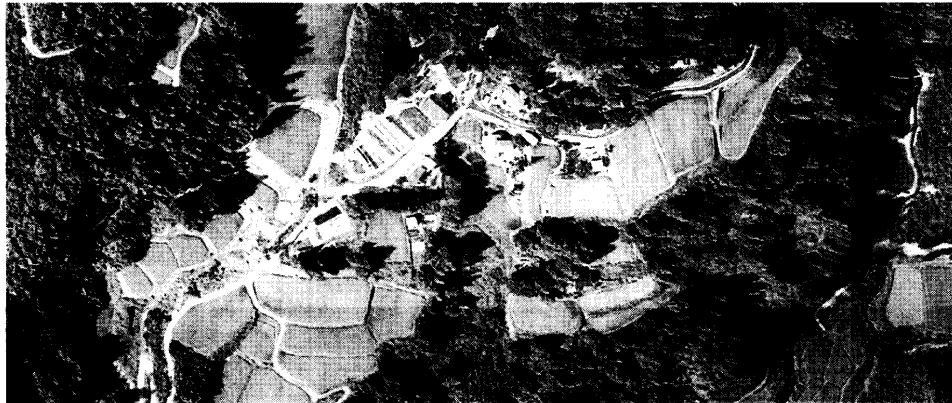
問 直接支払制度が継続され、市の強力な指導により、担い手の育成、農業体験（都市との交流）、圃場の整備により集落が活性化することと期待するが。

答 水の郷工業団地と観光は魚沼市発展の要である。市長選の焦点でもあった。対立候補の協力が少しでも市政発展につながるなら腹を割って協力を求めるべきだ。

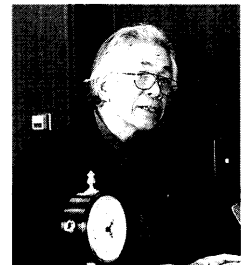
問 集落の活動を見直しながら将来計画を定め実行する。耕作放棄地の復旧、法人の設立、棚田オーナー（都市との交流）等により100%以上の交付金をうけるよう指導する。

問 工業団地と観光は魚沼市発展の要である。市長選の焦点でもあった。対立候補の協力が少しでも市政発展につながるなら腹を割って協力を求めるべきだ。

問 入広瀬、守門の地域審議会を活用して



都市との交流による農業体験で集落の活性化に期待が寄せられている。



小野澤 政幸 議員

多くの人がサービスから除外されるが。負担となる。日帰り介護、短期入所も負担増となるが。

答 3月に県で担当者会議があつたが、数字的なものはまだ推定できない。

問 介護保険改定は、軽度者の排除と、施設入所者の負担増の改悪だ。

答 食費、居住費は除外となり負担が減る人と増える人がいる。日帰り短期入所は試算できない。

問 「新予防給付」に移ることは、これまでの生活支援（家事援助）のサービスを受けていた人が、精神的にも生活の支えがなくなりやっつけられない。

問 訪問介護利用料の国の「特別対策」が4月で切れ、6%〜10%負担となる。6%以下で継続せよ。

答 他の利用者との公平性の観点から6%以下に継続はできない。

問 「要支援」、「要介護1」の利用者が、「新予防給付」が新設されると

答 「要支援」、「要介護1」の特養老人ホーム入所者の食費、居住費が全額

問 「要支援」、「要介護1」の利用者が、「新予防給付」が新設されると

答 生活の不便を感じ懸念もあるが、制度の目的に沿っていると

問 特養老人ホーム入所者の食費、居住費が全額

答 生活の不便を感じ懸念もあるが、制度の目的に沿っていると

問 特養老人ホーム入所者の食費、居住費が全額

答 生活の不便を感じ懸念もあるが、制度の目的に沿っていると

問 特養老人ホーム入所者の食費、居住費が全額

答 生活の不便を感じ懸念もあるが、制度の目的に沿っていると

問 特養老人ホーム入所者の食費、居住費が全額

答 生活の不便を感じ懸念もあるが、制度の目的に沿っていると

問 特養老人ホーム入所者の食費、居住費が全額

答 生活の不便を感じ懸念もあるが、制度の目的に沿っていると

介護利用料の軽減措置を継続すべき

公平性の点で特別対策の軽減は打ち切る



介護保険がスタートした日付の「健康守門」の表紙(平成12年4月1日発行)

一般質問



小川 典夫 議員

議会の解散について抜本的な行政改革を!!

議会の議決をうけ真剣に執行に向け取り組む

問 議会は 予算、条例などを可決すれば市政運営上支障はない。六月解散を主張する議員は、予算成立時に解散・辞職は、予算の執行を市の裁量に任せるもので無責任と主張しているが、市当局の裁量で予算執行はできる。しかも議会解散後は40日以内に新市議会が選ばれるの

答 議会の議決をうけて真剣に執行に向け取り組む。
で市政運営に支障はない。市長の考えを問う。

問 市の管理職員は多すぎる。26名の議会に40名もの説明員は如何なものか。抜本的な行政改革を行なう意志があるか。



40名もの説明員は多い。抜本改革を。

答 抜本改革は必要と考えるが、6カ町村が合併して間もないので1年位のサイクルを経験したうえで、かつ行政改革推進委員会です十分な審議を願う対応。

問 市議26名になった時の議会議場は市長など三役の居る本庁舎(小出庁舎)に変更すべきと思うがどうか。

答 議場の位置については合併時の重要案件として合併協定で検討の結果決定されたものであり、これを重視していく。



星野 邦子 議員

合併で減った保健師の補充はしないのか

当面合併のスケールメリットを生かしてゆく

成には10年かかり、後々困る事になる。

費用対効果を分析し、

答 健康を守っている保健師の役割は十分分している。保健施策も検討する課題と思っ

問 北魚沼郡時代、全国と比べて成人病とその予備軍が多かった。近年益々重要性を増す健診が必要だ。保健師が合併で退職し、健診会場も減った。保健師は補充しないのか。

問 少子化が深刻になつてい

答 各地域、各組織、市民とのつながりの中で活動。健康で笑顔のある暮らしの創造に向け支援する。

答 一般検診4回、

問 病気の早期発見、予防の為に健診や訪問活動が減ればみな住民にはね返る。保健師の育

35才以上の妊婦には超音波検査1回の無料券を配布



すこやかに育つ子供達

4月1日に全面解禁になるペイオフの対応は大切な公金であるから安全で有利な運用を行なう



星 薫枝 議員

答

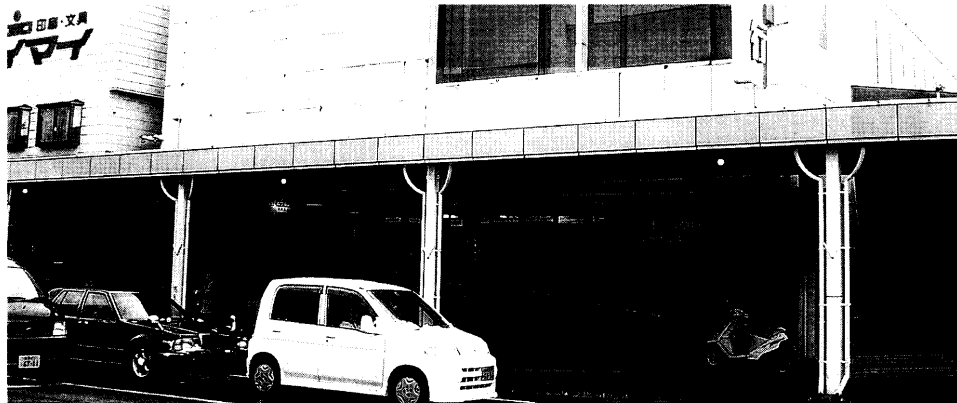
ペイオフの解禁に伴い、これまで預金保険により保護されてきた普通預金については、定期預金と合算し元本1、000万円とその他の利息を超える部分は保護措置がなくなる。例外的に金額保護される「決済用預金」が導入される。魚沼市としては「決済用預金」の導入をおこなうとともに従来どおりの定期預金の運用も行う。指定金融機関等から

借入金(44億円)がある。相殺により資金保全を図りたいと思う。

問

市当局で扱う金額は基金等もあり、多くの預金もあるが、元本1、000万円までとその他の利息を超える部分は保護される。決済用普通預金は全額保護される。しかし無利息とのこと。銀行では様々な商品を用意してお客様に接している。1億円以上の金額を無利息でというのも淋しいものだ。できれば経済財政運営に役立てよう、元本および利息の支払の出来る安全な商品はなにか、市長としてはこの財政をどのような商品にかえて保管するか質問する。

融機関等から



ペイオフ解禁の対応に問題はないか(本町ペルロード)

不登校児童、生徒への支援対策は

適応指導教室で支援実施



大塚 フミ子 議員

問

いじめや病気になる子どもを引寄せし学校に行けなくなつた児童や生徒、家族に対し行政ができる支援策を。

答

市内中学校でも見

受けられるため、補助教員を付けて対応している。

問

魚沼市 適応指導教室通称フラワールームで地域ぐるみの不登校対応を行ない、早期発見、早期対応などきめ細かな支援を実施している。

答

不登校が長く続くと学校に行かない、仕事も持たないという二つになる心配があるが。

中学生も含め22名が通室。専門の指導員2名が学校と一体となって支援している。

中学進学を機に不登校やいじめが急増する「中1ギャップ」の心配はないか。

答

二つの問題は大変重要な問題と受け止めている。適切な時期に親離れ子離れができなかった家庭での、子育てが原因と思われる。幼児期からの家庭教育の充実と、それぞれの家庭において父親の子育てへの参加が重要と考えられる。



料理実習にとりくむ生徒たち

一般質問

一般質問



廣張 義博 議員

税金の使途、子育て、障害者、高齢者支援を
財政負担が伴うので十分な検討が必要だ

答 三年終了まで拡大すると約1、900万円、

問 子育て支援の強化を求める。乳幼児医療費助成を小学三年終了まで拡大せよ。保育料を上限4万円として抜本的に引き下げを。奨学金の採用枠を倍に拡大し、支援を具体的にせよ。
問 緊急度のない新庁舎に毎年1億円、ム

低い年金者の介護利用料の減免を旧湯之谷水準年間収

保育料引き下げに9、300万円、奨学基金を平成29年まで毎年約6、400万円の増額が必要になる。

答 高齢者除雪支援は1、980万円の増入60万円で実施せよ。要介護世帯については370万円程度必要。利用時の福祉法人減免、現行54万円で266人の予定。旧湯之谷水準は困難。



広神西ふたば保育の運動会で頑張る子供たち

答 最重要課題として認識している。ごみの減量、分別の推進のPR、ごみ袋の無償配布、不法投棄の防止及び処理生ごみ処理機補助等趣旨に沿って取り組む。

問 R（発生抑制、再利用、再資源化）を推進するため、市町村の自主性と創意工夫を活かしながら、広域的かつ総合的に廃棄物処理、リサイクル施設の整備を推進し循環型社会の形成を図るとしているが、3Rの取り組みはどうか。
問 国では廃棄物の3R（発生抑制、再利用、再資源化）を推進する

の国語と算数（数学）は全国平均より高い水準だが、中2と中3の数学、英語は若干低下している。学力向上への対応については、複数担任による協力授業を実施し、1人ひとりの子供の特性に沿う学習の工夫がなされている。

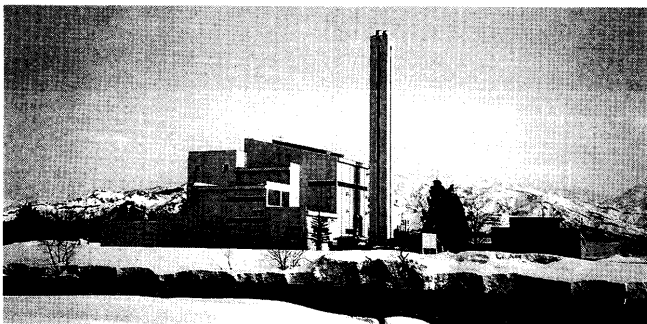
問 R（発生抑制、再利用、再資源化）を推進するため、市町村の自主性と創意工夫を活かしながら、広域的かつ総合的に廃棄物処理、リサイクル施設の整備を推進し循環型社会の形成を図るとしているが、3Rの取り組みはどうか。
答 平成16年4月、5月実施した標準学力検査によると、小学校6年と中学1年の国語と算数（数学）は全国平均より高い水準だが、中2と中3の数学、英語は若干低下している。学力向上への対応については、複数担任による協力授業を実施し、1人ひとりの子供の特性に沿う学習の工夫がなされている。



石田 良一郎 議員

環境汚染と、地球温暖化防止の取り組みは

問 学校の児童生徒の学力低下が全国的に問題になっているが、魚沼市の現状はどうか。また学力向上への対応はどのようになされているか。
答 平成16年4月、5月実施した標準学力検査によると、小学校6年と中学1年の国語と算数（数学）は全国平均より高い水準だが、中2と中3の数学、英語は若干低下している。学力向上への対応については、複数担任による協力授業を実施し、1人ひとりの子供の特性に沿う学習の工夫がなされている。



魚沼市エコプラント全景

畜産農家の育成を 家畜排泄物対策は

堆肥センターを18・19年度の2か年で建設



星 孝司 議員

問 堆肥センターの建設は早急に必要と考

えるがいつ建設するのか。

答 平成18年19年の2か年度で建設する。

問 「家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」についてどう受けとめているか。

問 現状、第一次救急医療は当番医制度で行なっているが、市民の利便性を考えて「休日診療所」の開設が必要と

思

うが、夜間、休日の第一次救急医療体制についてどう考えているか。

答 環境保全対策は必要の事と受けとめている。

問 魚沼市の医療ネットワークのあり方と併せて検討したい。

問 有機資源を利用して、安全、安心な農産物を消費者に提供しなければならぬと考

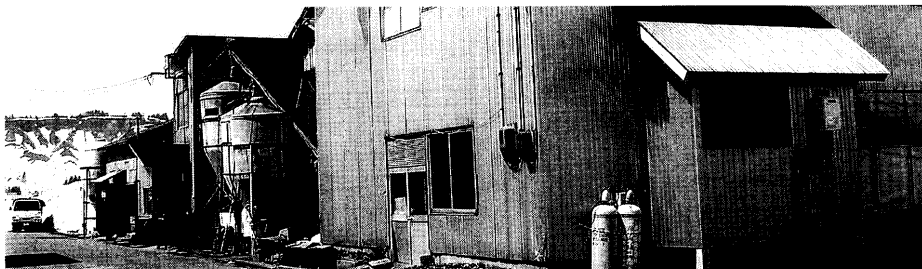
えている。

答 有機資源を利用し

て、安全、安心な農産物を消費者に提供しなければならぬと考

えている。

答 「魚沼地域基幹病院設立推進協議会」の結果を参考に、関係者から意見を聞いて検討したい。



家畜排泄物対策が求められているが

議会解散請求をどう捉えるか

マンモス議会を直感視した結果では



大塚 秀治 議員

問 市民グループによる議会解散請求が起きて

いる。

合併協議会

における小委

員会や住民説

明会の対応

等々、住民の

意見に耳を傾

けず、在任特

例を1年6ヶ

月にしたこと

が結果として

リコールにつ

ながあった。

行政の立場

で合併を推進

してきた市長

として、これ

をどう捉えるか。

合併協議会・小委

員会で真剣に議論し

た結果、地域サービ

スの低下がないよう

に決めた事である。

しかし、

市民がマンモス議

会の様子を見て、議

会の見方、感じ方が

違ってきたものと

感じる。

答 サービスの低下とな

らないような行政機

構が必要だ。行政改

革推進委員会で十

分審議し、結果を

踏まえて行政のスリ

ム化に努めたい。

問 現在の行政

機構は、旧6か町

村職員を考慮し

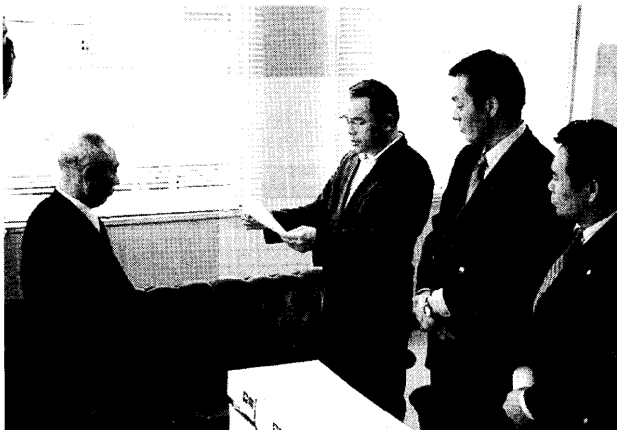
た体制であり、課

が多すぎて効率が

悪いと考

える。議会をま

もなく解散



25,538人の署名簿が選挙管理委員会に渡された(3月23日)

一般質問

一般質問



皆川 雄二 議員

地域防災計画と住民自治防災のあり方は

震災マニュアルと防災無線の整備に取り組む

問 市防
災計画を
もとに、それ
ぞれの地域に
あった災害マ
ニュアルや市
民の行動計画
がなければ意
味がないが、
今回の中越大
震災の魚沼市
としての総括
としての総括
は。

答 復興だけ
でなく防災対
策を万全にす
るため、今回
の震災を教訓
に、県の地域

問 地域防
災体制を
見直し、防災
体制を確立す
るには、コ
ミュニティ組
織が重要な役
割を果たしま
す。各地域・
各団体と防災
について検討
するべきと考
えるが。

答 地域の
自主防災

問 市防
災計画を
もとに、それ
ぞれの地域に
あった災害マ
ニュアルや市
民の行動計画
がなければ意
味がないが、
今回の中越大
震災の魚沼市
としての総括
としての総括
は。

答 復興だけ
でなく防災対
策を万全にす
るため、今回
の震災を教訓
に、県の地域

問 市防
災計画を
もとに、それ
ぞれの地域に
あった災害マ
ニュアルや市
民の行動計画
がなければ意
味がないが、
今回の中越大
震災の魚沼市
としての総括
としての総括
は。

答 復興だけ
でなく防災対
策を万全にす
るため、今回
の震災を教訓
に、県の地域

問 市防
災計画を
もとに、それ
ぞれの地域に
あった災害マ
ニュアルや市
民の行動計画
がなければ意
味がないが、
今回の中越大
震災の魚沼市
としての総括
としての総括
は。

答 復興だけ
でなく防災対
策を万全にす
るため、今回
の震災を教訓
に、県の地域

問 市防
災計画を
もとに、それ
ぞれの地域に
あった災害マ
ニュアルや市
民の行動計画
がなければ意
味がないが、
今回の中越大
震災の魚沼市
としての総括
としての総括
は。

答 復興だけ
でなく防災対
策を万全にす
るため、今回
の震災を教訓
に、県の地域



震災を教訓に地域防災体制の見直しを(小出郷体育館)

問 年々滞納線越が高
額化し増加している
が主たるその理由と、平
成16年度末の未徴収見
込額は。

答 可能な手段を組合
わせ地道に実施する
ことが重要だ。個々の対
策は納税相談に力点を置
き納税の制約
履行を確保し
納付を促す。

問 滞納の原因として
滞納者側では、長引
く不況と中越大震災の影
響が考えられ、徴収側で
は合併対応と震災対応に
追われ十分な収納対策が
とれなかったことである。
平成16年度末未収見
込額は市税で3億4、9
00万円程度、国保税で
1億6、600万円程度、
その他介護保険料、上
水道使用料等にも滞納
なう等納税意

問 延滞加
算金を加
えた通知を行
なう等納税意

問 滞納の原因として
滞納者側では、長引
く不況と中越大震災の影
響が考えられ、徴収側で
は合併対応と震災対応に
追われ十分な収納対策が
とれなかったことである。
平成16年度末未収見
込額は市税で3億4、9
00万円程度、国保税で
1億6、600万円程度、
その他介護保険料、上
水道使用料等にも滞納
なう等納税意

問 延滞加
算金を加
えた通知を行
なう等納税意

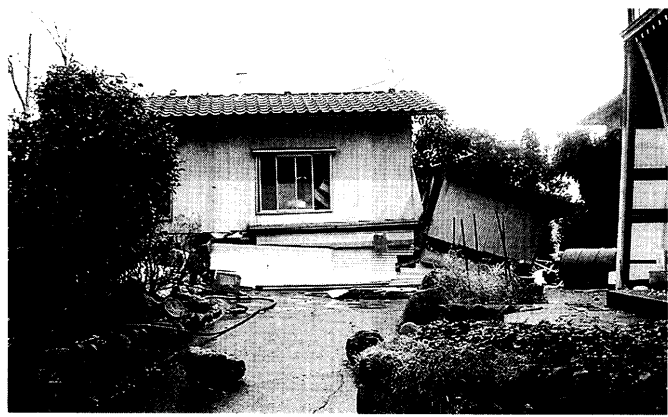
問 滞納額に対する徴
収率向上への具体的
な行動指針は。

答 納期限後20日以
内に督促状を發布、
さらに年1回全滞納者に
催告を送付、納税要請を
し、さらに強制手段とし
て滞納処分を含めた対応
も考えていく。



佐藤 喜郎 議員

滞納額に対する徴収向上への具体的行動指針は
納税相談に力点を置き、納税の制約・履行を確保
がある。
識の高揚策は。



震災により倒壊した家屋

時代の変化と自治の本旨のありかたは

厳しい財政の中で市民の理解を求めて



佐藤 与一 議員

問 合併協議会決定事項であり見解は控えらる。

答 合併協議会決定事項であり見解は控えらる。クタールの自然と人との共生である。いなかの伝統、文化を守るのは棚田山の担い手である。市長の人と四季がかがやく姿は。

問 住民が議会にノーを示した。合併協議会決定を否定し、自治の本旨に反する議会、行政を怒っている。市民代表の市長判断を。

答 本年一般会計予算約300億円。赤字約300億円。赤字的市債が約17億と思う。いかがか。

問 近隣類似市と比較して約100億円多い、人件費、物件費が突出し、50億円余の差がある。一般財源の基本である普通交付税、市税は山林の維持管理は当面森林組合への管理委託を進める必要がある。

答 私見はあるが、市長の見解は控える。

問 近い類似市と比較して約100億円多い、人件費、物件費が突出し、50億円余の差がある。一般財源の基本である普通交付税、市税は山林の維持管理は当面森林組合への管理委託を進める必要がある。

問 議会改革が急務だ。議会費も上限は市税の3%4%と思う。次の選挙の定数は26人でなく18人が良いと思うが市長の見解は。

答 議会改革が急務だ。議会費も上限は市税の3%4%と思う。次の選挙の定数は26人でなく18人が良いと思うが市長の見解は。

問 人と四季を輝かせるには、約10万へ



第1回定例会

小出病院を守る決意があるか

基幹病院設立を中心として考えたい



住安 孝夫 議員

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。

問 小出病院の年間延べ24万人の外来患者、12万人の入院患者の大部分は魚沼市の住民であり、無くてはならない病院である。病院の存在は市の要件でもある。しかし市長は、基幹病院を作るなかでその他の病院のあり方を考えようという姿勢のようだ。そういう考え方は

答 小出病院の役割、機能を、地域住民が望んでいる方向で確保できるように要望してゆく。医師不足問題の解決のためには、基幹病院構想の実現がどうしても必要だ。



改修が待たれる小出病院東棟

では小出病院を守れないのではないか。年間1人あたり600円から1、2000円の図書費を徴収している。今後は市の財政状況を見ながら調整してゆく方針だ。

一般質問